

「現代政策学特講 II (沖縄)」

募集要項

■授業の概要と目的 (何を学ぶか)

沖縄県にある自治体の公共政策を学び、「地域の政策・発展」を考える、実習型の科目です。

この授業では、まず、事前学習を通じて、沖縄県の歴史および諸自治体の公共政策・行政等に関する基礎的な知識を身につけます。そのうえで、同県の自治体をフィールドとして、現地実習や課題解決型授業を実施します。実習場所の方々とのインタビューを通して、地域コミュニティの特質および防災・住民へのサービス等の取組みを学び、地域の政策・発展を考えます。

課題解決型フィールドワークとして実施するこの授業は、沖縄県の沖縄大学・名城大学や千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアムに加盟する大妻女子大学、大妻女子大学短期大学部、共立女子大学、共立女子短期大学、東京家政学院大学、二松学舎大学の学生も受講する予定です(合計で24名程度を想定)。立地はもとより建学の理念や文化、気風の違う大学の学生が協働して取り組むことを通じて多角的な視点を養うとともに、価値観や知見、交友範囲を広げる機会となることが期待されます。

※「現代政策学特講 I (千代田区)」を受講していない場合でも、「現代政策学特講 II (沖縄)」を受講することができます。

※一昨年度「現代政策学特講 II (沖縄)」を受講し、単位を修得した学生も再び受講することができます。また、所定の成績を収めれば、別途単位が付与されます。

課題解決型フィールドワークとは…

あらかじめ獲得している知見を現実の場で応用・実践すること。それを通して課題を発見し、その課題解決のための方策を練りあげること。

■応募資格

法政大学 法学部 全学科 1～3年生 (※1)、他学部生 (※2)

千代田区コンソーシアム参加大学の学生、沖縄大学・名城大学の学生

(※1) 国際政治学科は2～3年生のみが応募できます。

(※2) 本科目は、法学部政治学科主催の他学部公開科目(4年生履修不可)です。

■実施形態

沖縄大学、名桜大学、大妻女子大学、大妻女子大学短期大学部、共立女子大学、共立女子短期大学、東京家政学院大学、二松学舎大学の学生と一緒にクラス授業、現地実習、グループワークを実施します。

■実施時期

事前学習：未定。詳細が決まり次第、連絡します。

現地実習：2024年3月4日（月）～8日（金） 計5日間（予定）

■実習地

名桜大学（沖縄県名護市）および県北部の自治体

■担当教員

法学部政治学科 明田川融教授、中野勝郎教授

■費用

宿泊施設利用料：20,000円程度（現地支払い）

※宿泊については、名護市内の施設を大学にて予約します（男女別相部屋）。本人の都合によりキャンセル料発生日以降に取消を行う場合、キャンセル料は本人負担となります。宿泊についての詳細は、12月頃に案内します。

※上記以外に自己負担として、航空券（東京⇒那覇、那覇⇒東京）、食費（朝・昼・夕食）、施設見学科、グループごと移動する場合の交通費、保険料が必要となります。

※航空券は各自手配してください。詳細については別途連絡します。

※実習地によっては、別途費用が発生します。

※今後、自然災害や新型コロナウイルスの感染拡大等の不測の事態により中止となる場合および、体調不良等の本人の都合により欠席する場合、宿泊料・航空券などの取消料は、本人負担となります。

■単位数

法律学科 自由科目 2単位

政治学科 選択科目 2単位

国際政治学科 自由科目 2単位

※本科目の単位数は、年間の履修上限には含まれません。

ただし、「法学部履修の手引き」(36) (37) に記載の「当該年度に修得可能な専門科目の上限」には含まれます。

(例) 法律学科1年生：専門科目（16単位まで修得可能）→ 現代政策学特講Ⅱ（沖縄）以外に

専門科目を 16 単位すでに履修登録している場合は、本科目は履修できません。

※法学部生以外の学部生については、原則として年間履修上限とは別に履修することが可能ですが、各学部が定める要件に従ってください。不明な点は、各所属学部に相談してください。

※本科目の成績評価は、2024 年度春学期に付与されます。

■応募方法

【申込期間】2023 年 11 月 16 日（木）23:59 まで

【申込方法】下記、Google フォームより「参加申込書」に必要事項を記入し提出してください。

※申込は、大学が付与したアドレスで行ってください。

※申込後、受講が決定した後の受講辞退の場合、E 評価（未受験）の成績評価が付与されます。

渡航しない場合でも、受講が決定した時点で成績評価の対象となりますのでご注意ください。

【選考方法】「参加申込書」に基づく書類選考とします。

※選考結果は 11 月 22 日（水）頃、応募の際に登録されたメールアドレス宛に通知します。

☆Google フォーム URL

<https://forms.gle/6C6ffYuiRqgaurGPA>

<申込フォーム QR コード>



■授業計画

本授業の計画は以下を予定しています。

【事前学習】※オンラインでの実施を予定しています（変更となる場合あり）。

- ・講義「近現代の沖縄政治史—主席公選問題からのアプローチ—」（明田川 融 講師）
- ・講義「やんばるの沖縄戦と米軍基地史—民間人収容地区から辺野古新基地問題まで—」（川満 彰 講師）
- ・自主学習「沖縄県北部地域の現状と北部 12 市町村の地域振興に向けた取り組み」（北部広域市町村圏事務組合北部振興対策室）視聴
- ・グループワーク
「名護市および沖縄県北部地域の調査計画の策定」（テーマ、ヒアリング先、ヒアリング先移動計画）

【現地実習】 ※変更となる場合あり

日程	内容
3月4日(月)	※12時00分 那覇空港に集合予定
PM	オリエンテーション
	講義(名桜大学 林優子教授)
3月5日(火)	
AM	フィールドワーク(名護市内施設等ヒアリング調査)
PM	フィールドワーク(名護市内施設等ヒアリング調査)
	グループワークと振り返り
3月6日(水)	
AM	フィールドワーク(名護市内施設等ヒアリング調査)
PM	フィールドワーク(名護市内施設等ヒアリング調査)
	グループワークと振り返り
3月7日(木)	
AM	フィールドワーク(名護市内施設等ヒアリング調査)
PM	最終プレゼンテーション準備
3月8日(金)	※12時00分終了予定
AM	最終プレゼンテーション
現地実習後	最終レポート提出

■成績評価の方法と基準

調査実習における積極性や調査報告の内容により評価します。

■その他

学外施設を訪問して、研究活動を進めるプログラムのため、諸事情により、本プログラムの内容変更または中止をする場合がありますので、ご了承ください。

■問い合わせ先

法政大学現代政策学特講事務局(法政大学法学部窓口 大内山校舎1階)

E-mail: chiyoda_okinawa@ml.hosei.ac.jp

以上